

## 616)ポンコツ

小生は超ポンコツのエルグランデに乗っている。もうかれこれ20年近くなるので、どことって悪いところはなかったが、車検が残っていないと屑鉄代にしかならなくなると思って、10ヶ月残っている間に買い換えたら、10万円で引き取ってくれた。それで同じくポンコツのエルグランデに40万円プラスして買い換えたのである。おかげで車は5年ぐらい若返った。

過日、群馬のバッチャんの一族のどなたかが亡くなって、車が1台余ってしまった。そのクルマは結構いいクルマだったらしく、次々とお下がりが回ってきて、バッチャんのところにはお孫さんが乗っていた軽自動車が出て来た。お孫さんが言うには、今まで乗っていたバッチャんの車よりも2ランクぐらいアップするのだそうだ。そこで余ったバッチャんの車をディーラーに売りに行くことにした。もう8年ばかり乗っていて、ところどころに小さなへコミはあるものの、まだ車検が14ヶ月も残っている。ディーラーに行くと営業マンは何の計算をすることもなく、「この車ですと、3,000円で引き取ることとなりますね。」と杓子定規に言った。小生は「まだ14ヶ月も車検が残っているんだ!」と厳しく言うと、営業マンは「これをご覧ください。」と言って、立て看板を指差した。確かにそこには『軽自動車売り切り3,000円』と書いてあった。小生は少々むかついて「じゃあ、結構。」と言って、ディーラーでない中古屋へ持って行くことにした。

そこには丁寧で美人の受付嬢がいて、担当の営業マンを呼んで来た。するとこちらの営業マンは、いろいろと考えているような振りをして、何と「無料なら引き取ります。」と言うではないか。「バックヤロウ!俺のエルグランデは20年も経つやつが車検10ヶ月付きで10万円で引き取ったぞ!!」というと、『じゃあそちらへお持ちになって下さい。』と言いやがった。今畜生と思ったが、どうしようもない。

地方では軽自動車が溢れているのだろう。帰り道バッチャんと相談して、近所にもっと古い車を大事に乗っている人がいるから、そこへ上げることにしようということになった。その人はえらく喜んで、「もう買い換えなきゃと思っていたんだけど、まだ動くもんだから。」と言ってバッチャんの車を喜んで貰ってくれたという。そして数日後、その人がバッチャんのところに来て、3万円も包んで来たのだという。「田舎はいいネ。」みんな家族なんだね。小生はしみじみと田舎の人情を感じたのであります。